

東部環境工場の整備について

1 経緯

令和6年度に耐用年数（30年）を迎える東部環境工場について、今後も燃やすごみの適正処理を維持していくため、令和2～3の2カ年をかけて延命化計画を策定した。しかし、重要機器の老朽化が進んでいたことや材料高騰の影響を受けて、当初の想定以上に事業費が拡大することが判明したため、整備内容等の精査を行った。

2 延命化計画（概要）

- 整備事業実施時期 令和4年度～令和8年度
- 施設の稼働期間 令和21年度まで
- 整備事業の概算金額 約93億円
- 整備事業の効果
（廃棄物処理LLC比較） 延命化と新規建替を比較した場合、延命化の方が約43億円有利である。
- 整備内容の変更 健全度の比較的高い機器について、以下の検討を行い、事業費を削減。
・整備内容を機器更新から補修に変更
・整備範囲の縮小を実施
- 整備事業に伴う
二酸化炭素削減量 整備前と整備後で約700t／年のCO2削減（削減率は約6％）



基幹改良（廃熱ボイラ）



クレーン設備改修

< 主要な整備 >

3 今後のスケジュール

延命化計画に基づき、施設整備を進める。

- ・基幹的設備改良工事及びクレーン設備改修工事は、R4年9月に契約済みであり、整備を実施する。
- ・R5年度以降に（第2期）基幹的設備改良工事を含む付帯工事についての発注を行う。
- ・R8年度末に全ての整備が完了となる。

整備実施のスケジュール

工事名	工期	備考	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度
基幹的設備改良工事	R4～R6	契約金額 18.26億円	入札→ 契約	工事実施			
クレーン設備改修工事	R4～R7	契約金額 5.68億円	入札→ 契約	工事実施			
（第2期）基幹的設備 改良工事	R5～R8			入札→ 契約	工事実施		
ディーゼル機関改修工事	R5～R6			入札→ 契約	工事実施		
周波数制御装置等 更新工事	R6～R7				入札→ 契約	工事実施	
空調設備改修工事	R7～R8					入札→ 契約	工事実施

4 次期施設の建設準備について

東部環境工場の整備と並行して、次期施設の建設に向け、準備を進める。

- ・脱炭素新技術導入（CO2回収実用化等）の可能性について検討する。
- ・先進事例の調査（他自治体の視察）を開始する。